

とやま

県広報とやま

2003

2月号

No.398

富山県

特集 あなたからのご提案を県政に

クローズアップ ご存じですか？自動車の税金



五箇山に伝わる民謡に取り組み、全国でも高く評価されている県立平高等学校郷土芸能部(2年生)の皆さん。

12月

10日

日本中に夢と勇気を与えた偉業

ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さん

十二月十日、田中耕一さん（富山市出身）がストックホルムでのノーベル賞授賞式に臨みました。受賞の対象となった研究もさることながら、その人柄で日本中の人気者となった田中さんに、世界から称賛の声が送られました。



スウェーデン国王からメダルを受け取る田中さん(共同通信社提供)

県議会十二月定例会では、田中さんへの名誉県民贈呈を全員一致で可決。また、県では子ども県広報「きときとキッズ」臨時増刊号を発行し、田中さんの業績や理科の面白さを子どもたちにもわかりやすく伝えました。

さらに、富山と高山を結ぶ

国道41号沿線は、田中さんをはじめ、大沢野町で少年時代を過ごした利根川進さん（昭和六十二年医学・生理学賞）ら四人のノーベル賞受賞者ゆかりの地として注目を集めています。県では、かつて「ブリ街道」と呼ばれたこの道を、現代の出世街道「ノーベル街道」として観光や文化など幅広い視点からアピールしていくこととしています。

問合せ

県庁総合政策課

☎076(444)9605

田中耕一さんへの名誉県民贈呈式の来場者を募集します

富山県名誉県民・富山市名誉市民贈呈式

日時 三月一日(日)

午前十一時～午後四時四十分

場所 富山国際会議場

応募方法

往復はがきに住所、氏名、電話番号を記載のうえ、次のあて先まで〒930-8501(住所記入不要)県庁秘書課

「名誉県民贈呈式」係

一人一枚、応募多数は抽選

締切 二月十四日(金)必着

入場料 無料

問合せ 県庁秘書課

☎076(444)9617

12月

21・22日

キラリと光る学習活動を披露 高校生きらめきフェア

十二月二十一日と二十二日、高校生が日ごろの学習活動を発表する「高校生きらめきフェア」が高岡テクノドームで開催されました。

同フェアは、高校生の創造性や表現力をはぐくむ「高校生による創造発信事業」の一環。メインステージでは、著作権をテーマにしたディベート決勝大会や英語のプレゼンテーション、研究発表などが行われ、日ごろの学習の成果を競い合いました。



生徒自らが各校の特色をアピール

また、会場内では、県内六十八校の特色ある活動がパネ

ルやビデオで紹介されたほか、ロボット競技のデモンストラーションや実習品の展示即売など、生徒自らが各校の活動を紹介。進路の参考にする中学生や家族連れなどでにぎわいました。

県では、今後も高校生の創造力や表現力を伸ばすとともに、その成果を幅広く発信する機会を設けていきます。

問合せ

県教育委員会指導課

☎076(444)3450

1月

17日

美しい富山の景観をいつまでも

景観づくり講演会

講演を通じて富山の景観について考える「景観づくり講演会」が、一月十七日に北日本新聞ホールで開催されました。

講演会では、映画「釣りバカ日誌13」で監督を務めた本木

克英氏（富山市出身）が、「映

画に描く富山の景観」と題して基調講演。映画の題材となったふるさと富山の景観を語りました。また、昨年九月に制定された「富山県景観条例」の概要が紹介されました。



「釣りバカ日誌13」撮影時のエピソードを語る本木監督

富山県は、世界的な山岳景観や緑豊かな田園風景など、すばらしい景観に恵まれています。富山県景観条例は、このかけがえのない貴重な財産である景観を守り育て、次代に伝えていくために制定されたものです。

条例は今年四月から施行されます。県では、今後条例に基づき景観づくりの施策を推進し、美しい県土の形成を目指していくこととしています。

問合せ

県庁都市計画課

☎076(444)9661

ご存じですか？自動車の税金

自動車は私たちの生活に密着したものになっています。そんな身近な自動車に関する税金について、県に納めるものを中心に紹介します。



図 自動車に関する税金

購入にかかる税	所有にかかる税	
自動車取得税(県税)	自動車税(県税)	自動車重量税(国税)
	普通乗用車など 軽自動車税(市町村税)	軽自動車、二輪車など

ガソリン、軽油などの燃料にも税金がかかっています。

図 県の歳入に占める県税の種類と割合(平成14年度)

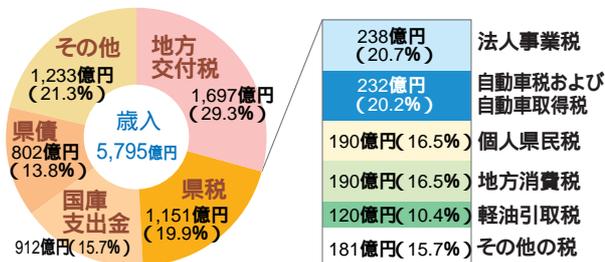


図 グリーン化税制による自動車税の年税額

(自家用乗用車のうち主なもの)

総排気量 (単位:cc)	通常の 年税額	環境負荷の小さい自動車			環境負荷の 大きい自動車
		約50%軽減	約25%軽減	約13%軽減	約10%増加
1,000以下	29,500円	15,000円	22,500円	26,000円	32,400円
1,000超 1,500以下	34,500円	17,500円	26,000円	30,500円	37,900円
1,500超 2,000以下	39,500円	20,000円	30,000円	34,500円	43,400円
2,000超 2,500以下	45,000円	22,500円	34,000円	39,500円	49,500円
2,500超 3,000以下	51,000円	25,500円	38,500円	44,500円	56,100円

排出ガス性能に応じて税率が軽減されます。詳しくは、購入される自動車販売店でご確認ください。対象車種については、国土交通省のホームページでも紹介されています。
(http://www.mlit.go.jp/jidosha/green/green_.html)

自動車の税金は大切な収入源

私たちが身近に使用している自動車には、いくつかの税金がかかれています(図)。県税では、平成十四年度の県税収入千五百一十億円のうち、自動車に関する税金は二百三十二億円で全体の約二〇%を占めています(図)。

自動車に関する県税

自動車を取得したときにかかる税金です。なお、県に納められた税金の約七割は市町村に交付されます。また、この税金はすべて道路整備のために使われています。

自動車税

毎年、四月一日現在で自動車を所有している人に二年分課税されます。

自動車税のグリーン化税制

環境にやさしい自動車の普及を促進するため、環境負荷の小さい自動車は税額が軽減され、環境負荷の大きい自動車は税額が高くなる制度です(図)。軽自動車は除きます。

税額が軽減される自動車

平成十三、十四年度に新車登録された燃費・排出ガス性能の良い自動車(登録の翌年度から二年間適用)

平成十五年度以降に新車登録される分については内容が変更される予定です。

税額が高くなる自動車

新車登録から十二年を過ぎたディーゼル車、十三年を過ぎたガソリン車、LPG車

自動車税、こんな場合はどうすればいいの？

- Q.** 手放した自動車の納税通知書が届いたのですが、どうしてですか？
- A.** 自動車税の納税通知書は、運輸支局に登録してある所有者に送付することになっているからです。下取りに出したり、事故等で廃車にするときには、移転や抹消の登録手続きを必ず行ってください。
- Q.** 住所が変わったので住民票を移しましたが、納税通知書が届かないのはどうしてですか？
- A.** 自動車税の納税通知書は、車検証に記載されている住所に送付しているからです。住所が変わった場合は、運輸支局で変更登録の手続きをしてください。

あなたの税金が地域社会を支えています。

豊かで明るい社会生活に必要な各種の行政サービスは税金に支えられています。自動車税をはじめ、納税通知書が届きましたら、お早めに納付いただくようお願いいたします。

問合せ

- 富山県税事務所自動車税センター ☎ 076-424-9211
- 富山県税事務所 ☎ 076-444-5014
- 高岡県税事務所 ☎ 076-424-4504
- 魚津県税事務所 ☎ 076-522-8105
- 砺波県税事務所 ☎ 076-328-0044

皆さんからのご意見・ご提言をいつでも受け付けています

県民の皆さんからの声を紹介します



景観を損ねる大きな看板や広告塔は取り締まってほしい

屋外の広告物については、「富山県屋外広告物条例」により、表示場所や面積等の規制を行っています。今後とも、市町村とも連携して適切に対応していきます。また、県土全体の景観に関する施策の指針として「富山県景観条例」を昨年9月に制定(本年4月施行)し、美しい富山の景観を守り伝えていくこととしています。
問合せ 土木部都市計画課 ☎ 076(444)9634

仕事や家庭をもちながら身近な経済や金融、保険などについて学べるよう、夕方や夜、休日にセミナーを開いてもらいたい

県では、さまざまな生涯学習のニーズに応えるため、「県生涯学習カレッジ」で多様な講座を開設しています。また、平成13年には新たに魚津と砺波に「カレッジ地区センター」を設置したほか、テレビ放送やインターネットによる在宅学習講座を開設するなど、より多くの方が利用しやすい環境づくりを進めています。是非ご利用ください。
問合せ 県生涯学習カレッジ本部 ☎ 076(441)8401
生涯学習カレッジの講座

ホームページアドレス <http://www.tkc.pref.toyama.jp/>
なお、「とやま学遊ネット」では、さまざまな団体、機関が行う学習機会の情報提供を行っております。
ホームページアドレス <http://www1.tkc.pref.toyama.jp/NET/NET.HTM>

県政へのご意見やご提案をお待ちしております

知事へのはがき・手紙

はがき、手紙の場合
〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課
「知事へのはがき」または「知事への手紙」係
FAXの場合 県民相談専用FAX 076(444)3300
Eメールの場合 koho@pref.toyama.lg.jp

来訪、お電話

県民相談室 県庁(本館)2階 ☎076(431)3131
高岡地方県民相談室 高岡総合庁舎1階 ☎0766(26)8400
魚津地方県民相談室 魚津総合庁舎1階 ☎0765(22)9100
砺波地方県民相談室 砺波総合庁舎1階 ☎0763(32)8100

県のホームページ

県のホームページでは、常時皆さんからのご意見・ご提言を受け付けているほか、重要な施策などを決定する際には個別にみなさんのご意見を募集しています。のマークが目印です。

<県のホームページ>
<http://www.pref.toyama.jp>



県では、既存の道路を改善するため「とやまのみちフレッシュアップ事業」を創設し、より良い歩行空間の整備を進めています。なお、ホームページでは整備事例を紹介しているほか、ご意見や具体的なアイデア等を募集しています。
問合せ 土木部道路課 ☎ 076(444)3319

ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/sections/1501/freshup/fresh.htm>



歩道の段差を解消するとともに点字ブロックを設置し、歩行者にやさしい歩道に改修しました。

犬猫の不妊に対する助成金制度を設けてほしい

犬や猫の避妊・去勢手術は法律()で飼い主の責務とされています。自治体の助成について、犬・猫を飼っていない方の理解を得るのは困難であり、今後とも飼い主の方への避妊・去勢手術の普及啓発に努めていきたいと考えています。
動物の愛護及び管理に関する法律
問合せ 厚生部食品生活衛生課 ☎ 076(444)3230

海洋深層水を汲み上げると、海の環境を損ねるのではないかと

本県で取水している深層水の量は、現在一日あたり約5,400m³です。日本海側10箇所と同程度の取水をしたと仮定し、単純に計算すると、
年間取水量 5,400m³ × 365日 × 10箇所 = 69,254,186...
日本海の水深300m以深の深層水量
表面積 水深 水深300m以深分
130万km² × 1,350m × 1,050m / 1,350m
(「海洋大事典」和達清夫 東京堂出版より)

約6900万年かかることとなります。このように、現在の取水は日本海全体の海水量に比べてわずかな量であり、環境を損ねる恐れはほとんどありません。

しかし、いかに膨大な量とはいえ、無限の資源ではありません。県では、取水した深層水の資源性を有効に無駄なく利用するため、深層水の多彩な利用技術の開発研究を進めています。

問合せ 農林水産部水産漁港課 ☎ 076(444)3294
商工労働部商工企画課 ☎ 076(444)3245

特集についての問合せ・ご意見は 県庁広報課 ☎076(444)3133

あなたからのご提案を県政に



昨年11月18日に開催された一日庁議

「一日部長・一日庁議」各分野で活躍する方に「一日部長」として県政を、実際に体験していただき、「一日庁議」の場でさまざまなご意見をいただきます。



昨年8月1日に開催された一日農林水産部

「一日部長・一日庁議」各分野で活躍する方に「一日部長」として県政を、実際に体験していただき、「一日庁議」の場でさまざまなご意見をいただきます。

「一日部長・一日庁議」各分野で活躍する方に「一日部長」として県政を、実際に体験していただき、「一日庁議」の場でさまざまなご意見をいただきます。

出前県庁(一日部・しごと談義)

今年置県120年を迎える富山県。置県時の最も重要な課題は、荒れくるう河川の治水でした。月日の流れとともに県政の課題も移り変わり、県民の皆さんのニーズも複雑・多様化してきています。県では、県政が直面している課題を広くお知らせするとともに、さまざまな形で県民の皆さんのご意見・ご提案をお聞きし、県政に反映させています。新しい時代にふさわしい県づくりを進めるために、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

県政モニター

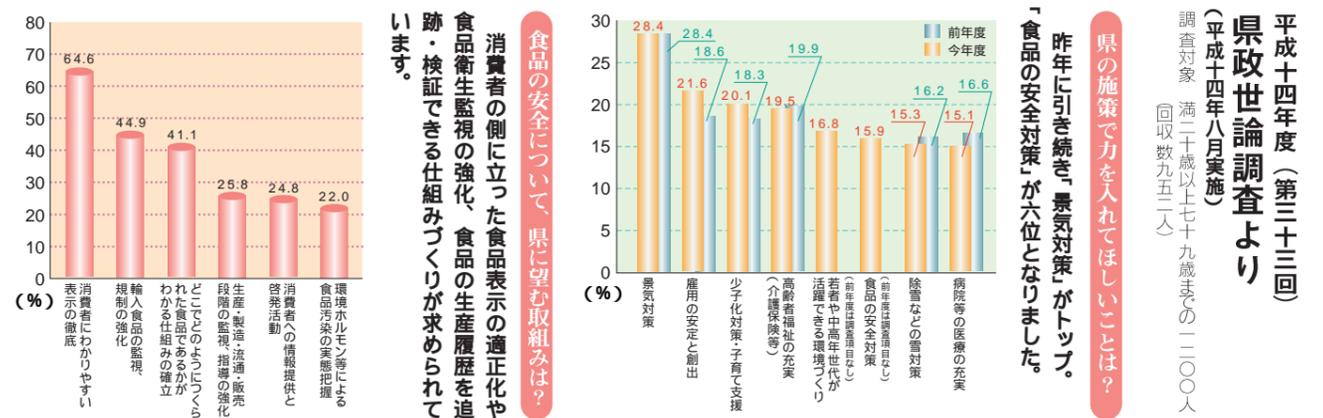


施設見学会で食肉検査の説明を受ける県政モニター皆さん

県政に関するさまざまなアンケートにお答えいただくほか、県政全般にわたって建設的なご意見をいただく「県政モニター」制度を実施しています。

県政モニターを募集中!

募集人数 百名程度
任期 平成十五年四月から二年間
応募資格 県内在住の満二十歳以上の方。ただし、公職選挙法による公職者、公務員及び過去二年以内に県政モニターを経験された方は除きます。
応募方法 はがきに次の項目を記入して、県広報課あてに郵送ください。
住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号
職業区分(次のうちから選択してください)
農林・漁業 建設・製造業 サービス・自由業 家事 無職
各種モニター経験の有無(例) 年度 モニター(五十文字程度)
募集締切 二月二十八日(金)(当日消印有効)



郷土の豊かな民謡を通して、心をふれあい、感動を呼びたい



県立平高等学校
郷土芸能部の
皆さん

左より
宮崎 将太さん、鉢呂 政樹さん、
たかくわ たけのり 高菜 壮成さん、宮川 顕子さん、
宮崎 祐輔さん（以上2年生）

こきりこ、麦屋節、といちんさ節といった富山を代表する民謡のふるさと五箇山。その美しい山間で、平高校郷土芸能部は活動を続けている。部が発足して14年、全国高等学校総合文化祭で上位入賞を重ねる(文化庁長官賞(ベスト4)3回、優良賞2回)など、その活躍は全国でも注目されている。平高校の特色は、踊りだけでなく三味線や太鼓、唄などの地方(じかた)も部員が担当すること。現在部員数は42名を数える。



第25回全国高等学校総合文化祭で見事優秀賞を受賞し、優秀校東京公演で発表した(東京国立劇場)

温かい声援が励みになる

あどけなさを残した若者たちが舞台上になると、会場がかすかにざわめく。若者の顔つきが変わり、伸びやかな歌声が響きわたる。見事な舞に驚嘆のため息が漏れ、大きな拍手がわき起こる。舞台上に立つのは平高校郷土芸能部だ。

「民謡は、形が決まっています。舞台から降りてこぶしを突き上げるわけにはいかない(笑)。その『形』のなかで、観客の心を動かせるなんてすごいことです」と話すのは部長の高菜さん。

活動していて一番うれしいのは、お客さんからの温かい声援という。「見ていた高校生に『すごく良かった、感動しました』と言われたときはうれしかった。同世代の人にももっと見てほしい」高校生の顔に戻

った高菜さんは、屈託なく笑う。

民謡がはぐくむ技と心

平村では、小・中学校で民謡の基礎や楽しさを教える地域ぐるみの活動が行われている。唄を担当する宮川さんも、「民謡は小さい時から慣れ親しんでいるので、入学前から入部は決めていた」という。

しかし、高校で目にしたのは高いレベルを目指す先輩たちの姿だった。地元の保存会の方々から、踊りや地方といった伝承の技術を教わる。三味線のさおがすり減るほどの練習に、最初は正直とまどった。

こきりこを踊る宮崎祐輔さんも「細かい表現が本当に難しかった」と話す。その中で、うまく表現できたときの満足感を知った。舞台上に立ったときの緊張感は、今はたまらない魅力の一つになったという。また、地域との関わりも変わった。「地元の人と挨拶しあうようになった」とは宮崎さん。地元での公演は、見ている人みんなが先生だから特別だ。逆に地域の小学生を教えることもある。活動を通じて、地域の人と心が通じ合っていく。民謡は、確かな絆で五箇山の人々をつないでいる。

それぞれの目標に向かって

高菜さんたちは四月から三年生、新入部員を迎え、部をまとめていかなくはならない。今年の夏に行われる全国高等学校総合文化祭で再びベスト4に入り、東京の国立劇場で発表するという目標もある。

地方のリーダーで三味線の宮崎将太さんは、「地方をきちんとまとめたい。自分の課題は麦屋節の出だしで、もっとうまくやりたい」と話す。副部長の鉢呂さんは、「みんなが一体となった演奏を国立劇場で披露したい」と力を込める。「中学までは、ひとつのことに打ち込むなんてなかった。今はもう毎日が民謡。それが楽しい」と宮川さん。

「先輩たちの技を受け継いで、高校生らしいのびのびとした踊りや演奏をしたい」と語る部員たちの瞳は輝いている。きつと大きな舞台上で最高の感動を与えてくれるだろう。



地方の指導を受ける部員たち。練習は主に夜に行われる。踊りより地方を希望する新入部員の方が多いという。

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山の話を紹介いたします。今回は平成14年11月～12月に紹介された話題の中からいくつかを紹介いたします。なお、ここで紹介しきれなかったものは県庁広報課のホームページでご覧になれます。

助け合う家族や地域

生活保護を受けている人の割合が、富山では人口1000人あたり1.9人と全国一少なく、最多の北海道の約10分の1となっている、と伝えた。この数値は必ずしも失業率と連動しておらず、相互扶助意識や持ち家率の高さなどを反映しているのでは、とのこと。

◎朝日新聞 11月13日



冬の劔岳へ決死の出動

日本初の山岳警備隊となる富山県警山岳警備隊に迫った。地元立山町の山岳ガイドに指導を受けた隊員が、さまざまな苦難を乗り越え、雪の劔岳での大量遭難に立ち向かったドラマを伝えた。

◎NHK総合「プロジェクトX」 11月19日



日本中の感動を呼んだ「生涯—エンジニア」

ノーベル化学賞を受賞した富山市出身の田中耕一さんにスポットをあてた。「自分の頭で考え、自分の足で歩き、自分の手で作る」と作文に書いた故郷富山での小学校時代が田中さんの原点と伝え、番組史上最高の視聴率を記録。

◎NHK総合「にんげんドキュメント」 11月21日、12月12日



深層水は富山ブランドがトップ

「海洋深層水」のブランド化競争が取水地域間で激化するなか、富山が売上高で日本一となっていることを伝えた。立山連峰や薬のイメージに加え、物流の優位性、東京でのラッピングバスなどの広告が要因では、と分析している。

◎日経流通新聞 12月5日



「もういくつかねと」は富山のお正月

「名曲を訪ねて」のコーナーで、童謡の「お正月」を取りあげ、作曲者の瀧廉太郎が幼年時代を過ごした富山のイメージを反映している、と伝えた。瀧が過ごした富山での生活、餅つきなど師走の光景を紹介。

◎きょうの健康 12月号



今後の予定

「ひるどき日本列島」

NHK総合 2月24日(月)～28日(金) 午後0:20～0:45

ひるどきの富山から生中継。冬の富山の暮らしや遊びなど、富山の魅力と人を伝えます。



富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

編集部から

如月は「生更ぎ」とも書かれ、草木が生き返る時期といえます。雪の五箇年で練習に励む高校郷土芸能部の取材で、反物の桜色は早春の桜皮から取るという話を思い出しました。桜は木いっぱいにあの桜色を溜めて春に備えるんだとか。満開の花が今から楽しみです。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、次の場所で無料配布するほか、郵送による購読も受け付けています。

主な配布箇所/県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法/郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読回数を明記し、郵送料として1回当たり120円分の切手を同封のうえ、県庁広報課「県広報とやま 定期購読係」までお申し込みください。

なお、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

とやまの情報お伝えします!【2月の県政番組・お知らせ】

番組タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

- 9日 わがまち自慢～城端町～
- 16日 北方領土と富山のつながり
- 23日 雪国・富山を楽しもう

とやまDASH! フォーカス・イン 富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

- 9日 雪に克つ!
- 16日 我が町の自慢パート
- 23日 温故知新

富山が元気。見たモン勝ち2 チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52

とやま県聞録 FMとやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40 毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」
2月8日の朝刊各紙に掲載予定
富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

プレゼントつきアンケート

あなたが県政の情報を得ているのは、次のうちのどれですか(複数回答可)

- 広報誌「県広報とやま」
- 新聞広報「県からのお知らせ」
- 北日本放送テレビ「こんにちは富山県です」
- 富山テレビ「とやまDASH!フォーカス・イン」
- チューリップテレビ「富山が元気。見たモン勝ち2」
- FMとやま「とやま県聞録」
- その他(内容を記入ください)

応募方法

ハガキに、アンケートの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、県庁広報課「県広報とやま2月号プレゼント係」まで。締切/2月21日(金)(消印有効)

20名の方に、「水墨美術館観覧券」をペアでプレゼントします。(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。)



県庁広報課への郵便、ご連絡は 〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 e-mail koho@pref.toyama.lg.jp
県庁広報課のホームページは <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

水墨美術館

**文化功労者顕彰記念
梅花の調べ〜郷倉和子展**
【2/22(土)〜3/23(日)】
日本画壇を代表する女性作家の一人として活躍し、昨年、文化功労者に選ばれた郷倉和子の「梅のシリーズ」から、春と秋の院展出品作を中心に約40点を展示します。
一般1,000円/高・大600円/小・中300円
常設展示もご覧になれます。

9:30〜17:00(入館は16:30まで)
休月曜・祝日の翌日(3/22は開館)
常設展示観覧料一般200円高・大160円小・中100円



立山カルデラ砂防博物館

写真展「自然の魅力」
【〜2/16(日)】無料
ナチュラリストが感じた自然のすばらしさや大切さを約50点の写真で紹介いたします。

写真展「立山カルデラ」
【3/1(土)〜4/6(日)】無料
体験学習参加者などから公募した写真約50点を展示します。

9:30〜17:00(入館は16:30まで)
休月曜・祝日の翌日(3/22は開館) 2/18〜2/22
一般400円 高・大320円 小・中200円



中央植物園

企画展「私の植物画展」
【2/7(金)〜26(水)】
一般公募した植物画約140点を展示します。入園料が必要です。

**「平成14年度研究発表」
「日中共同研究報告
〜雲南省にペゴニアを求めて〜」**
【3/16(日) 13:00〜16:00】
職員が行っている研究活動の発表や中国・雲南省での共同研究について紹介します。

9:00〜17:00(休木曜)
入園料 一般600円 小・中300円



県民公園太閤山ランド

富山県シャフルボード太閤山ランド大会
【3/15(土) 9:30〜15:00】受付9:00〜
最近人気のニュースポーツ・シャフルボードの大会を行います。一人でも気軽に参加することができます。
参加費300円 うちばき持参
要申込 3/1まで 定員128名(申込順)
申込先 実行委員会 ☎076(74)0011

9:00〜17:00
休火曜・祝日の翌日(2/11, 3/22は開園) 3/24
入園無料(駐車料金は3/31まで無料)



自然博物館ねいの里

野鳥写真展
【〜2/10(月)】

高等学校生物部会写真展
【2/14(金)〜22(土)】

サンショウウオを知る
【3/16(日) 10:00〜12:00】
残雪の中に産卵に来るホクリクサンショウウオの生態などを学びます。
参加費無料 対象小学生以上 要申込 3/14まで

9:00〜16:00(休火曜・祝日の翌日
(2/11, 3/22は開園) 3/24 入園無料



こどもみらい館

こども歳時記「ひな祭り」
【〜3/2(日)】
やじろべえなどの伝承玩具をもとに、ゆるやかな動きのある3種類のおひな様を作ります。
材料代200円

小さな玩具展 おまけのおもちゃたち
【〜3/9(日)】
大正10年代から現在まで、お菓子についてくるおまけのおもちゃ約510点を展示します。

9:30〜17:00
休火曜・第4水曜・祝日の翌日(2/11, 3/22は開館) 3/24
入館無料



県民会館

県民会館学園美術教室作品展
【2/28(金)〜3/2(日) 9:00〜17:00】無料
3/2は16:00まで

N響メンバーによる弦楽四重奏コンサート
【3/14(金) 開演19:00】
N響メンバーが県民の皆さんから寄せられたリクエスト曲を演奏します。
曲目/ハイドン「皇帝」
ビートルズ「イェスタデイ」/レット・イット・ビー、他
一般3,000円/学生1,000円(当日はそれぞれ500円高)
全席自由
休2/6, 2/7, 3/3



らいちょうパレースキー場

らいちょうパレー雪の祭典
【2/8(土) 9(日) 11:00〜14:00】
リフト1日券ほか当たるゲーム大会、山麓館の販売などを行います。

ひなまつりファン感謝デー
【3/3(日)】
女性に限り、リフト・ Gondolaが1日無料になります。

8:30〜16:30(土日・祝日は8:00から)
ナイター営業 17:00〜21:00)
3月上旬までの毎週金・日、祝日の前日、祝日
1日券 中学生以上4,200円 小学生以下2,700円
半日券 " 3,000円 " 1,900円
ナイター券 " 2,300円 " 1,500円



高岡文化ホール

ズームアップ! 郷土の音楽家たちコンサート2003
Brilliant ~吹奏楽の響き~ 富山ミナミ吹奏楽団
【2/11(火・祝) 開演14:00】
富山県を代表する社会人吹奏楽団のコンサートを開催します。
曲目/トランペット奏者と吹奏楽の協奏曲(第1番)
ホルン、ウインド、パーカッションの為の狂詩曲
一般1,200円/学生600円 全席自由

富山県水墨美術館所蔵作品による工芸・美の美展
【2/21(金)〜3/9(日) 9:00〜17:00】無料
人間国宝の金森映井督や松原定吉などの工芸作品を展示します。
休火曜(2/11は開館)



新川文化ホール

ウィンターマーチング2003
【2/11(火・祝) 開演14:00】
県内のマーチングバンドによる華やかなステージショーを行います。
一般800円/小学生以下500円 全席自由

バレエパフォーマンス イン 新川 2003
【3/16(日) 開演14:00】
クラシックバレエ、モダンバレエ、ジャズダンス、フラメンコなど、県内の洋舞団体が個性あふれる創作舞踊を披露します。
一般800円 全席自由



県民小劇場オルビス

舞台芸術・芸能発見ライブ in ORBIS
アフリカ太鼓っておもしろい!
【3/7(金) 開演18:30】
アフリカ伝統の楽器を駆使し、奏でるリズムは聴くものの心の奥底を揺さぶります。冬の寒さをもともしない熱いコンサートを開催します。
出演/山北紀彦、三田健司、木村正人
3,000円(前売・当日とも)全席自由



教育文化会館

第24回民謡春まつり
【3/2(日) 開演11:00】
日本郷土民謡協会北日本地区連合会に所属する民謡7団体が、県内や全国各地の唄と踊りを織りまぜた、にぎやかな公演を行います。
1,800円(当日は200円高)全席自由



水墨美術館、立山カルデラ砂防博物館、中央植物園は土日・祝日の小・中学生、高校生の観覧料、入園料は無料です。